

第2回東海市公の施設の指定管理者選定委員会会議録

1 日時

令和8年（2026年）8月18日（火）

午後1時30分から午後3時00分まで

（現地確認：午後3時10分から午後4時00分まで）

2 会場

庁舎302会議室

3 出席者

(1) 委員

鈴木健司委員長、加藤知子職務代理、鈴木順子委員、酒井清明委員、
坂由季委員

(2) 施設担当課

ア 高齢者支援課

高齢者支援課長（池田）、同統括主任（伊藤）、同担当（松澤）

イ こども課

こども課長（永井）、同統括主任（島袋）、同担当（小島）

(3) 事務局

企画部長（内山）、企画政策課長（河村）、同統括主任（名和）、同担当（成田）

(4) 欠席者

なし（全員出席）

(5) 公開の可否

公開

(6) 傍聴者

0名

(内容)

1 開会

事務局（企画政策課長）より開会を宣言。

2 令和7年度（2025年度）施設の管理運営状況の評価について

(1) 担当課等説明及び審議

施設担当課より資料に基づき管理運営状況の評価について説明および審議。

- ① デイサービスセンター（高齢者支援課）
- ② 千鳥健康交流の家（高齢者支援課）
- ③ 大池健康交流の家（高齢者支援課）
- ④ 養父児童館・養父健康交流の家（こども課・高齢者支援課）

3 今後の予定について

事務局（成田主任）より第3回選定委員会（8月25日開催予定）及び第4回選定委員会（千鳥健康交流の家等の指定管理者選定）の開催予定について説明。

4 選定施設の現地確認

選定対象施設である養父児童館・養父健康交流の家へ移動し、施設職員からの説明及び現地確認を実施。

5 閉会

企画政策課長より閉会を宣言。

令和7年度（2025年度）施設の管理運営状況の評価について

① 東海市加木屋デイサービスセンター（高齢者支援課）

委員：

デイサービス事業と生活介護事業を合わせた事業収支がマイナスとなっているが、前年度と比較すると赤字幅がかなり改善している。物価高騰が続く中で指定管理者の努力が見られる。

担当課：

ご評価いただき感謝申し上げます。引き続き効率的な運営とサービスの充実に努めていく。

委員：

事業評価書10ページの提案事項に関する実施状況一覧表において、「外部研修」の項目中、上から5つ目にある「生産性向上ビギナーセミナー」のみ参加人数（括弧内の数値）が空欄となっているが、記載漏れか。

担当課：

記載漏れであったため、事実関係を確認のうえ修正・追記する。

委員：

ボランティアや看護実習生の受入れを実施したとのことだが、施設を利用されている高齢者にとって具体的にどのようなプラスの効果があったか。

担当課：

若い世代の実習生や多様なボランティアが参加することで、利用者の皆様にとって良い刺激となっている。世代間交流を楽しむ声が多く寄せられており、それをきっかけに利用者同士のコミュニケーションが深まるなど、施設運営において大変良い効果が

生まれている。

委員：

事業評価書 1 ページの「履行の確認」において、保守点検・清掃等業務の中の「修繕業務」の前年度評価が横棒（一）となっている理由は何か。

担当課：

令和 6 年度においては、指定管理者が自己負担で行う軽微な修繕が発生せず、すべて市が主体となって実施する修繕で対応したため、評価対象外として横棒（一）表記としている。

委員：

事業評価書 2 ページの「サービスの安定性の評価」における指定管理者自己評価欄で、支出が前年から約 6 2 9 万円減少しているが、これほど大幅に支出が減少した主な要因は何か。

担当課：

社会福祉協議会の内部における職員の人事異動や定年退職等に伴い、当施設に配置されている職員の人件費単価（平均給与等）が下がったことが主な要因である。職員の配置人数や配置基準を減らしたわけではない。

委員：

アンケートでは職員の接客態度等が良好と評価されているが、現場職員の労働環境や処遇面でのフォロー、給与水準の確保などにも十分配慮してほしい。

担当課：

社会福祉協議会の事務所はしあわせ村内にあり、高齢者支援課とも隣接しているため、日頃から連絡を取り合い現場の状況を把握している。現場職員の負担感や労働環境にも配慮し、引き続き意見交換を行いながら適切に対応していく。

委員：

事業評価書 1 ページの施設所管課評価において、令和 5 年度にしあわせ村のデイサービスセンターが廃止された旨が記載されている。しあわせ村の利用者が当施設へ移行して利用が増えることも想定されたが、利用実績が減少傾向にある要因をどのように分析しているか。

担当課：

当初はしあわせ村からの受入れ増も見込んでいたが、市内の民間デイサービス事業所が増加していることや、当施設が市の南部に位置しており送迎や移動に時間を要すること等から、近隣の他事業所へ移行されたケースが多かったものと分析している。

委員：

事業評価書 2 ページの指定管理者自己評価欄に「中重度の要介護者や障害者等の受入れを実施した」とあるが、これは令和 7 年度から新たに開始した取組か。

担当課：

中重度の要介護者の受入れは以前から継続して行っている。障害福祉サービス受給者を受け入れる「共生型」の取組については、令和 6 年度から開始している。

委員：

事業評価書 2 ページの事業収支に関する文章で、「前年からマイナス 1 1 4 万円の 6 4 1 万円の赤字となった」という表現について、前年の赤字額からの改善状況が読み取りにくいいため、分かりやすい文章に修正してほしい。

担当課：

前年度からの推移や実績が明確に伝わるよう、表現を修正・加筆する。

〔審査結果〕 総合評価：B

② 東海市立千鳥健康交流の家（高齢者支援課）

委員：

事業評価書 3 ページおよび 5 ページのグラフにおいて、利用者数の目標値が年間 8000 人となっている。令和 5 年度は目標に近い実績であったがその後減少している。緑陽コミュニティセンターの改修工事完了に伴い利用者が戻ったことが要因とあるが、この目標 8000 人は緑陽コミセン改修時の一時的な受入れを見込んで設定されたものか、それとも千鳥単体としての目標設定か。

担当課：

緑陽コミュニティセンターの改修に伴う一時的な受入れ増も一部影響していたが、基本的には当施設単体としての利用促進を目指す目標値として設定している。

委員：

千鳥健康交流の家において、利用者やサロンスタッフが伸び悩んでいる背景にはどのような事情があるか。

担当課：

駐車場が少ない点や住宅街から距離があることに加え、社会的に定年が 65 歳へ延長された影響等により、地域でボランティアスタッフや運営の担い手となってくれる人材の確保が難しくなっていることも一因と考えている。

委員：

事業評価書 6 ページの実施状況一覧表で「地域交流イベントの実施」に実施記号が記載されていない点、7 ページの職員研修で「施設管理研修」に実施記号や日付がない点、また修繕の「網戸の張替え」に記号がない点について確認し修正してほしい。

担当課：

記載漏れや表記の不備について確認し、適切に修正・追記を行う。

委員：

事業評価書 3 ページの支出項目において、光熱水費が前年より増加している理由を教えてください。

担当課：

千鳥健康交流の家は 1 階のサロン部分が全面ガラス張りの構造となっており、日差しが入りやすく空調効率が非常に悪い環境となっている。冷房を 28 度に設定しても室内温度が下がりにくく、設定温度を下げて稼働させざるを得ないため、光熱水費が高くなっている。

委員：

ガラスへの遮熱フィルム貼付や日よけの工夫など、空調効率を高める対策を検討してほしい。また、利用者が伸び悩んでいる要因として他に何が考えられるか。

担当課：

駐車可能台数が少ない点や、住宅街からやや距離があることなどが要因として挙げられる。また、定年延長等に伴い地域のボランティアスタッフの確保が難しくなっていることも影響していると考えている。

〔審査結果〕 総合評価：B

③ 東海市立大池健康交流の家（高齢者支援課）

委員：

事業評価書 2 ページの「サービスの安定性の評価」における施設所管課評価コメント

が、千鳥健康交流の家のコメント（光熱水費の増加への懸念等）とほぼ同文になっているが、内容に相違はないか。

担当課：

大池健康交流の家の実際の収支状況に即した正確な評価コメントに修正する。

委員：

事業評価書３ページの支出において、清掃費、樹木剪定委託料、警備委託料の各項目が計画額と実績額で完全に一致（同額）している。計画と実績が大きく乖離する施設もある中で、このように同額となっている理由は何か。

担当課：

計画を策定する際、前年度の実績や委託業者への事前ヒアリング（当該年度にいくらかかるか等の見積もり・確認）を綿密に行ったうえで計画額を計上しているためである。物価上昇や予期せぬ値上げ等が発生しなかったため、計画通りの金額で執行・完了できたことによる。

委員：

事業評価書８ページの自主事業一覧で、「地域ボランティア活動促進事業（映画会・抹茶会）」の１０月欄に実施マークがないが、未実施だったのか。

担当課：

毎月開催の計画であったが、１０月については都合により実施できなかったため空欄となっている。

委員：

スタッフの確保が非常に困難とのことだが、館長やサロンスタッフの後任確保は現在どのように進められているか。また、ハローワーク等での公募は検討しているか。

担当課：

館長については当初3年の任期予定であったが後任が見つからず5年目に入っており、大池自治会と課で協議を重ねている。サロンスタッフについては、社会福祉協議会等へ地域活動の相談があった方に当施設を紹介し、1名の参加につながった事例がある。ハローワーク等での募集については、当施設が老人憩の家から移行した経緯があり、駐車場が少なく近隣住民の徒歩圏利用を想定しているため、主に地域内での声かけ・確保を進めている。

委員：

選挙の際には施設が投票所として使用されるのか。急な解散総選挙等が入った場合、一般の利用予約との調整はどうなるのか。

担当課：

投票所として使用される。急な選挙が決定した場合は、すでに予約が入っている利用団体等に事情を説明し、利用日時の変更や振替等をお願いして会場を確保している。

〔審査結果〕 総合評価：B

④ 東海市立養父児童館・養父健康交流の家（こども課・高齢者支援課）

委員：

事業評価書1ページの指定管理者自己評価欄に「駐輪場設置の希望が多い」とあるが、現状は駐輪場がないのか。具体的にどのような要望か。

担当課：

駐輪スペース自体はあるが、屋根が設置されていないため「屋根付きの駐輪場にしてほしい」という要望である。広い駐輪スペース全体に屋根を設置すると建築物扱いとなり、多額の設置費用や将来の維持管理費が発生するため、費用対効果を含めて検討・

協議していく。

委員：

利用者の小学校区を見ると横須賀小や加木屋小など他校区からも来館しているが、主な来館手段は何か。

担当課：

近隣の児童は自転車での来館が多く、遠方校区の親子連れなどは自家用車を利用して来館されるケースが多い。

委員：

維持管理業務の評価がB評価となっている理由として、床や窓の清掃が年度内に実施できなかったとあるが、どのような経緯か。

担当課：

清掃業者の日程調整等の都合により、令和7年度内の清掃作業が間に合わず、翌年度（令和8年4月）の実施となったため、年度内未完了を踏まえてB評価とした。

委員：

児童館スペースと健康交流の家（カフェ等）が併設されているが、イベント時以外でも日常的に子どもと高齢者の交流は見られるか。

担当課：

1階フロアがワンフロアでカフェと児童館スペースが隣接しているため、日常的に高齢者と子どもが自然に声を掛け合ったり、一緒に折り紙を折るなど、日常的な多世代交流が行われている。

委員：

スタッフの急な体調不良等による欠員が出た際、シフトの穴埋めはどのように対応し

ているか。

担当課：

急な欠員が生じた際は、基本的に他のスタッフ同士でシフトを交代・調整して対応している。どうしても現場での調整が困難な場合は市に相談するよう伝えている。

委員：

施設の維持管理や業者手配、金銭管理等は現場のサロンスタッフが行っているのか。
また、昨年度の課題にあった「税務・経理に詳しい人材の確保」の進捗はどうなっているか。

担当課：

施設維持管理や業者手配、予算執行等は館長および副館長の2名が担当しており、サロンスタッフが行っているわけではない。経理等の専門知識を持つ人材の直接採用には至っていないが、事務処理手順の整理や見直しを進めており、課題解決に向けた検討を行っている。

委員：

事業評価書4ページの支出にある「法定福利費」は児童館職員に関するものか。町内会連合会が児童厚生員を直接雇用し、社会保険や税務計算等の労務管理を行うのは負担が大きすぎるのではないか。市からの職員派遣や直営化、児童館と健康交流の家の管理運営の分離などを検討すべきではないか。

担当課：

児童厚生員の雇用に伴う社会保険料等である。指定管理者の役員にとって専門的な労務・税務手続きは非常に大きな負担となっている実態があるため、今後の管理運営体制のあり方について検討課題として受け止めていく。

〔審査結果〕 総合評価：B

事務局：

各施設の事業評価書における経営状況分析指標の記載内容等について、一部重複や不備等のご指摘をいただいた。正確な数値・記載内容を改めて精査・確認の上、次回の選定委員会にて修正内容をご報告させていただく。